

### インターンシップの概要

[実施] 2018年

[参加学生] 日本福祉大学 社会福祉学部  
3年 皿井克典さん

[実施期間] 2日間

[従事時間] 8時間

### インターンシップ先

[企業名] [株式会社美濃庄](#) 名古屋営業所

[所在地] 名古屋市千種区千代田橋2丁目6番16号

[事業内容] 介護用品のレンタル・介護リフォームなど

## ◆参加のきっかけ

父が福祉関係の仕事をしていることがきっかけで、福祉支援用具について興味を持ちました。利用されている方が、自分の生活をより楽しんでいる姿を見て、どのように、その方にあった福祉支援用具が手元に届くのか、その販売やレンタルの流れが知りたくて、今回のインターンシップに参加しようと思いました。また、営業の仕事や、会社というところが実際はどんな場所なのか、その雰囲気を感じて見たいと思ったことも動機の一つです。

## ◆こんな仕事を体験しました

介護ベッドや車椅子、リハビリマシンなどの福祉支援用具を販売、レンタルからメンテナンスまで行う営業部の仕事を体験しました。実際に施設や個人の利用者様の御自宅を訪問し、介護ベッドの搬入や設置、支援用具を使ってみるのモニタリングや点検、リハビリマシンの調整を行いました。また、区役所で福祉支援用具を購入するための手続の代行や、居宅介護支援事業所へ必要書類の提出にも立ち会うことができ、営業の仕事を一通り体験することができました。

## ◆ こんな先輩社員と会いました

インターンシップの内、1日は営業部9年目の小田剛士さんと一緒に施設や利用者様の御自宅、区役所を回りました。福祉支援用具を実際に使っている利用者様と小田さんのやり取りを間近で見られたことは大変勉強になりました。お客さんの「ありがとう」という一言で、これまで辛かった仕事を頑張ってきて良かったと思える瞬間があるということをお教えていただきました。

## ◆ インターンシップの学び

営業という仕事は、常に相手のニーズを第一に優先し、ニーズに見合ったサービスを提供できるようにするということだと学びました。また、今後とも良い関係を利用者様や関係者と築けるようにするために、サービスの質の向上を図ることが重要になるということもわかりました。福祉支援用具が一つあるだけで生活の質が向上するというのも大きな発見でした。

## ◆ インターンシップの流れ

8:20 **出社**

8:30 **朝礼**

自己紹介と、1日の仕事の流れを確認。

9:00 **外回り**

施設や利用者様の御自宅を訪問。

お昼も先輩社員と食べながら仕事の話をつつした。

16:55 **帰社**

安全運転で無事営業所へ到着。

営業車内に降ろし忘れなどがいないかを確認。

17:00 **総括**

1日の業務を振り返って感想を共有。

17:30 **帰宅**